

# 総務局

## 渉外部

渉外	.....	37
広聴広報	.....	39
シティセールス	.....	42
親善交流	.....	43
東京事務所	.....	46

# 渉 外

## 1 市内米軍基地

### (1) 市内米軍基地の概要

	主 な 施 設	面積(ha)	備 考
相模総合補給廠	物資の保管倉庫、修理工場	196.7	うち約0.9haは返還合意済
相模原住宅地区	住宅	59.3	
キャンプ座間	在日米陸軍司令部	172.5	座間市域を含む全体は229.2ha
	計	428.6	端数処理のため、合計は一致していない

※平成28年4月1日現在。

### (2) 米軍基地の返還促進

市内の米軍基地は、いずれも市街地に位置しており、市民生活に様々な影響を及ぼし、計画的なまちづくりを進めるうえで大きな障害となっていることから、市米軍基地返還促進等市民協議会とともに、基地の全面返還を基本としつつ、特に必要な箇所については一部返還などの実現を、国・米軍に要請してきた。

こうした中、平成18年5月、日米両政府による在日米軍再編の最終報告において、相模総合補給廠の一部返還・共同使用が盛り込まれた。このうち一部返還（約17ヘクタール）については、平成26年9月30日に米国政府から日本国政府への返還が実現し、また、共同使用（約35ヘクタール）については、平成27年12月2日に現地実施協定を締結し、共同使用が開始された。

平成25年10月には、かねてから道路用地として返還を要請していた、相模総合補給廠北側外周部分の一部返還が、日米合同委員会において合意された。

これら返還地等について、早期に、また、地元の意向に沿った利用ができるよう、国・米軍に求めている。

また、平成27年8月24日に発生した相模総合補給廠の倉庫爆発火災など、基地に起因する諸問題の解決にも取り組み、以下について要請を行った。

- ア 相模総合補給廠のJR横浜線と並行した道路用地及び北側部分の返還
- イ キャンプ座間のゴルフ場外周道路、ゴルフ場部分、旧まがり坂及び旧新磯高校東側道路用地の返還等
- ウ 相模原住宅地区内緑道の共同使用及び東側外周部分道路用地・ウォーターフィルタープラント（浄水場）部分の返還
- エ 基地周辺の生活環境の保全
- オ 事件・事故の防止
- カ 市民に不安を与えるような訓練・演習等の禁止 など

## 2 航空機騒音問題に対する取り組み

### (1) 米軍機による飛行訓練中止等の要請

厚木基地から飛来する米空母艦載機による騒音は、昼夜を分かたず、市民生活に大きな影響を及ぼしており、市民に耐えがたい苦痛を与えている。このため、県や厚木基地周辺各市と連携して、国や米軍に対し、騒音被害の軽減、解消を要請した。また、在日米軍再編に盛り込まれた厚木基地から山口県岩国基地への空母艦載機の移駐については、現在、平成29年頃となる見込みとされており、1日も早い移駐の実現や移駐が実現するまでの間の騒音軽減等について、国や米軍に対し要請した。

また、キャンプ座間や相模総合補給廠におけるヘリコプターの騒音は、周辺住民に対し激しい騒音、振動による苦痛と、墜落の不安を与えていることから、国や米軍に対し、騒音被害の軽減、解消を図るよう要請した。

## (2) 米軍機による航空機騒音調査の実施等

ア 自動記録騒音計による調査

設置場所：鶴園小学校、上鶴間中学校、南消防署東林分署、相武台まちづくりセンター、勝坂コミュニティセンター

イ 市民からの苦情件数 平成 27 年度 計 886 件 (内ヘリコプター301 件)

## 3 基地交付金

対象施設 相模総合補給廠、相模原住宅地区、キャンプ座間

平成 27 年度対象資産価格 299,352,270 千円

平成 27 年度交付額 1,256,640 千円(内訳：基地交付金 1,154,367 千円、調整交付金 102,273 千円)

## 4 基地関係協議会

ア 神奈川県基地関係県市連絡協議会

イ 厚木基地騒音対策協議会

ウ 厚木基地関係市連絡会議

エ 全国基地協議会及び防衛施設周辺整備全国協議会

オ 相模原市米軍基地返還促進等市民協議会

カ 県央地区渉外連絡委員会

## 5 平和思想の普及啓発

昭和 59 年 12 月 3 日に行った「相模原市核兵器廃絶平和都市宣言」の精神に基づき、「市民平和のつどい」実行委員会とともに、「終戦・原爆投下 70 周年記念事業 2015 市民平和のつどい」を開催するなど、平和思想の普及啓発を図った。

### (1) 「終戦・原爆投下 70 周年記念事業 2015 市民平和のつどい」の開催

ア 「映画『アオギリにたくして』上映会・平和の木植樹式」

【開催日・場所】5 月 31 日 上映会：市立博物館地下大会議室  
植樹式：淵野辺公園芝生広場

【来場者】上映会：約 70 名 植樹式：約 40 名

イ 「江成常夫写真展・講演会『母国は遥かに遠く』」

【開催日・場所】7 月 30 日～8 月 4 日(講演会は 8 月 2 日) さがみはら市民ギャラリー第 1～3 展示室

【内 容】・江成常夫氏の「日本人戦争孤児」と「戦争花嫁」を題材とした作品の展示

- ・同氏による取材時の体験をテーマとした講演
- ・「相模原原爆被災者の会」による被爆体験講話

【来場者】685 名

ウ 「平和・原爆ポスター展」

【開催日・場所】8 月 6 日～8 月 31 日 あじさい会館 1 階 ロビー

8 月 8 日～8 月 18 日 南区合同庁舎 1 階 ロビー

8 月 18 日～8 月 24 日 シティプラザはしもと 6 階 多目的スペース

【内 容】・平和市長会議加盟都市 5,000 都市突破記念「原爆ポスター展」

- ・日本非核宣言自治体協議会「ミニミニ原爆展」
- ・平成 26 年度平和ポスターコンテスト入賞作品

エ 「平和ポスターコンテスト」

【内 容】市内在住・在学の小・中学生から平和や核兵器廃絶に関連した題材のポスターを募集し、入選作品を展示

【応募数】小学校の部 50 作品、中学校の部 124 作品

【表彰者】小・中学校の部それぞれ最優秀賞1名、優秀賞5名、佳作10名

【展 示】最優秀、優秀、佳作作品合計32作品の展示

11月8日 あじさい会館1階ロビー

11月10日～11月16日 市役所本庁舎1階ギャラリースペース

オ 「地球のステージ」

【内 容】NPO法人「地球のステージ」代表理事 桑山紀彦氏によるコンサートステージ

【開催日・場所】9月27日 サン・エールさがみはら 2階ホール

【来場者】約80名

カ 「広島市派遣 相模原市平和大使」

【内 容】・「平和ポスターコンテスト」最優秀賞者2名とその保護者を広島市に派遣

・「市民平和のつどい」等にて集められ、平和への願いが込められた“折り鶴”の奉納

・広島平和記念資料館等にて核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを学び、後日「市民平和のつどい」にて学習結果を報告

【派遣期間】10月9日～10月11日

【結果報告】11月8日 市民平和のつどいにて報告

キ 「笑顔の写真展」

【開催日・場所】10月11日 大野北公民館2階

【内 容】北川孝次氏による世界各国の子供たちの笑顔を題材とした作品20点の展示

【来場者】約450名

ク 「平和ポスターコンテスト表彰式・佐々木祐滋 講演会・ミニライブ」

【開催日・場所】11月8日 あじさい会館1階ホール

【内 容】・「平和ポスターコンテスト」入賞者表彰式及び入選作品の展示

・相模原市平和大使の広島市派遣報告（学習結果発表）

・佐々木祐滋氏の講演会・ミニライブ

【来場者】約100人

## (2) その他

ア 平和関連団体の活動に対する協賛（8団体）

イ 日本非核宣言自治体協議会総会への出席（6月1日）

ウ 平和首長会議国内加盟都市会議への出席（11月9日～10日）

# 広 聴 広 報

## 1 広報活動

### (1) 文書などによる広報

ア 広報さがみはら

市からのお知らせ・情報等を市民に周知するため、月2回(1日、15日)、タブロイド版を発行し、新聞折り込みや、公共施設・鉄道駅・商業施設等における配架、ポスティングにより配布した。平成27年度は1回平均約23万7,500部発行

イ 声の広報さがみはら

視覚障害者などを対象に月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。カセットテープ90分×2本1組・CD、年24回、1回平均126組発行

ウ 点字版広報さがみはら

視覚障害者などを対象に月2回発行し、希望者に郵送した。また、図書館等にも貸出用として配布した。

B5版約120ページ、年24回、1回平均39部発行

エ ポケットデータさがみはら

統計数値を中心に、市の概要をコンパクトにまとめて発行した。年1回、10,000部発行

(2) 視聴覚広報

ア テレビ広報

(ア) 生放送番組/テレビ神奈川

番組名 「ありがとッ！」中の「マイコミュニティ（相模原）」

内 容 市のお知らせ、催し物などを紹介

放送日 第1・3金曜日、午後1時50分ごろに約3分間放送

(イ) 新春特別番組/テレビ神奈川

番組名 「未来へ響をつなぐ」

内 容 青山学院大学陸上競技部の原監督と市長による対談を軸に、市長がmanifestoに掲げた「6つの基本項目」を紹介した。

放送日 平成28年1月1日（祝）午前11時30分～正午

(ウ) データ放送/テレビ神奈川

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、テレビ神奈川のデータ放送の画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

(エ) 文字放送/J：COM関東

内 容 広報さがみはら掲載記事などを、J：COMのデータ放送の画面で配信した。

放送日 原則、1日・15日に更新し、随時配信

イ ラジオ広報

エフエムさがみ

番組名 「相模原インフォメーション」

内 容 市の行事や催し物、市政案内などの地域に密着した行政情報を紹介

放送日 毎日3回、各5分間

番組名 「市長と話そう」

内 容 エフエムさがみの企画制作により、市長が出演し、市政の動きや展望を話すトーク番組を放送した。

放送日 原則、毎月第2金曜日午後1時から30分間。翌日土曜日午前10時30分から再放送

ウ インターネット広報

(ア) 市ホームページ

市民生活に関わる重要なお知らせを随時掲載したほか、市政情報を日々更新した。

市ホームページアクセス件数

(単位：件)

区分	平成26年度	平成27年度
トップページ	2,937,869	2,664,496
総ページ	27,601,256	28,501,213

(イ) 携帯用ホームページ

広報さがみはら掲載記事から抜粋したお知らせ・募集・イベント情報などのコンテンツを随時追加した。

### 携帯用ホームページアクセス件数

(単位：件)

区分	平成26年度	平成27年度
トップページ	33,712	20,721
総ページ	136,446	79,469

#### (ウ) さがみはらメールマガジン

パソコン・携帯端末に向けて広報紙からピックアップした情報を中心に電子メールを配信した。月 2 回配信

### さがみはらメールマガジン配信件数

(単位：件)

区分	平成26年度	平成27年度
パソコン	296,671	302,416
携帯	56,856	52,310

#### (エ) さがみはらチャンネル (YouTube 動画配信)

動画共有サイト「YouTube」を活用して、相模原の魅力を紹介する動画等を配信した。

- ・ 平成 27 年度末掲載動画数 (累計) 660 本
- ・ 平成 27 年度末動画再生回数 (累計) 449,725 回

### (3) その他

#### ア 報道機関への情報提供

報道機関に市政情報を提供することにより、市政に対する理解を深めてもらうとともに、市の PR を図った。市長記者会見は、12 回開催、記事提供は随時行った。平成 27 年度は、記事提供 773 件、結果 293 件が新聞紙上に掲載された。

#### イ 新聞広告

市政の PR を積極的に進めるため、日刊紙等の紙面に広告記事(市の催しの案内など)を掲載した。平成 27 年度は、全国紙や地方紙計 7 紙に 10 回掲載した。

#### ウ 市民カメラマン

公募による市民カメラマン 10 名に依頼し、市ホームページ「季節のたより」に掲載する写真の撮影のほか、市民の目で捉えた相模原を記録写真として撮影してもらった。

#### エ きょうのニュース

各種日刊紙の相模原市関連記事を切り抜き、特別職、関係部局に「きょうのニュース」として紙ベースで提供した。他職員には庁内イントラネットに記事概要を記載した一覧表を掲載し周知した。

## 2 広聴活動

### (1) 市政を語る会

市民参加のまちづくりを推進するため、幅広く市民と市長が市政について積極的に意見交換等を行い、今後の市政に反映させるために実施した。平成 19 年度から市長が市民を訪問する形で実施しており、平成 27 年度は、「相模原らしい魅力ある都市農業について」(会場：JA 相模原市農産物直売所ベジたべーな)、「未来のさがみはらについて」(会場：川尻小学校)を実施した。

### (2) 市政モニター

市政についての意見・提案などを計画的に収集し、施策の企画立案や行政効果の測定などに活用するため、昭和 44 年度から実施している。平成 18 年度から「e-モニター」(愛称)として、市民を対象に公募した。

平成 27 年度のモニターの内訳としては、インターネットコース 43 人、郵送コース 105 人の合計 148 人であった。

平成 27 年度は、①「図書館サービスについて」、②「美術館に対する意向について」、③「ブランド農産物に

対する消費者の選択行動と相模原市の農産物ブランド「さがみはらのめぐみ」における認知度等に関する調査について」をテーマにアンケートを実施した。

### (3) ジュニア・市政モニター

次世代を担う子どもたちが市政に関心を持ち、新たな発想で市政に意見や提案を寄せてもらう機会をつくるため、平成26年度から実施した。

平成27年度はモニターが457人で、①「子どもの読書の実態について」、②「児童厚生施設について」をテーマにアンケートを実施した。

### (4) 市政に関する世論調査

市民の意識や意向を的確に把握し、市政運営の有効な手段とするため実施した。

平成27年度は、専門の調査機関に委託し、郵送による配布・回収方式で行った。市民3,000人を対象に「広報」、「ひばり放送」、「建物と地震」、「帰宅困難者対策」、「津久井産材」、「市職員の待遇」、「ICT」、「市の公共施設」の8項目を調査し、回収率は、48.8%であった。

### (5) わたしの提案

「心を大切にふれあいの市政」を推進するため、市民の意見や要望を、市政に反映させる「わたしの提案」制度を実施している。

平成27年度に寄せられた「わたしの提案」は1,531件であった。

### (6) 陳情・要望等

各種団体や複数の市民からの陳情・要望等を「わたしの提案」同様に処理し、その結果を市政の運営に役立てた。平成27年度に寄せられた「陳情・要望等」は、549件であった。

### (7) 相模原市コールセンター

市民サービスの向上を図るため、平日はもとより、休日や夜間の閉庁時間に市民からの市政等に関する問合せや各種事業の申込み受付を一元的に対応している。

#### コールセンターの概要

1	運営時間	午前8時から午後9時(年中無休)
2	電話番号等	電話 042-770-7777 ファクス 042-770-7766
3	サービスの範囲	主に市政等に関する問合せへの対応、各種事業の申込み受付
4	運営方法	民間委託
5	FAQの整備	市民が24時間市政等の情報を得ることができるFAQ(よくある質問と回答)を整備

#### コールセンター利用実績

(平成27年4月～平成28年3月)

コールセンター 利用件数	合計	電話	電子メール	ファクス
	104,245	102,922	969	354

# シ テ ィ セ ー ル ス

## 1 シティセールスの推進

「人や企業に選ばれる都市」を目指し、メッセージの発信量の増大を通して、居住促進、企業誘致、観光振興等のバックアップを図った。

## 2 情報発信

### (1) PR企画

医療、福祉、子育て支援の充実や防災・減災対策といった安全・安心に暮らせる生活環境のほか、圏央道開通、リニア中央新幹線等による交通アクセスの利便性など、本市の魅力ある取組の発信を通じ定住促進PRを図った。

### (2) メディアリレーション

メディアを活用し、本市に関わる情報を広く全国に発信するため、取材誘致につながる取組を実施した。

#### ア ニュースレターの発行

本市の魅力がメディアを通して発信されるよう、メディア向けにニュースレターを発行した（年度内2回）。

<テーマ>

「定住促進」、「宇宙のまち さがみはら」 他

#### イ ダイレクトコミュニケーション

テレビ番組、メディアの誘致を目指し、情報提供・取材協力等を行った。

<誘致実績>

テレビ朝日「あさチャン！」（電車ゴッコ世界大会の紹介）、テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」（出張鑑定、本市の魅力ある地域資源の紹介）、J:COM「週刊シティプロモーション ご当地サタデー」（定住促進事業やホームタウンチームの紹介） 他

#### ウ 編集協力・タイアップ

雑誌社との編集協力により、本市の魅力を紹介した。（神奈川Walker、横浜Walker）

#### エ Web運用

Facebook、Twitter、LINE、シティセールスポータルサイトの運用を行った。

## 3 官民連携による情報発信等

民間事業者と連携し情報発信した。

<主な取組>

時期	事業名	内容
4月～6月	定住促進プロモーションムービーの放映	都心部の鉄道広告媒体を中心に、「鉄拳」氏とコラボして制作した市のプロモーションムービーを放映した。
8月	Google インドアビューの導入	市役所展望室からの景色や市ロビー等の本市の魅力をWEB上から閲覧することができるGoogle インドアビューを導入した。
2～3月	定住促進スタンプラリー開催、定住促進パンフレット製作	「美少女戦士セーラームーン Crystal」とコラボした定住促進スタンプラリーを開催、定住促進パンフレットを製作した。
3月	官民連携「都市の魅力向上プロジェクト」	総務省、SUUMO等との連携プロジェクトとして、住宅情報サイト「SUUMO みんなの街」内に本市紹介ページを作製した。

# 親 善 交 流

## 1 国際交流及び国際化に係る企画及び調整

外国人市民に対する情報提供の充実、さがみはら国際交流ラウンジにおける外国人市民に対する支援体制の充実、市民による国際交流・国際協力事業への支援など、国際化の推進のための事業を行った。



### (1) さがみはら国際交流ラウンジ

ア 利用状況(平成27年度開館日数 306日) 17,384人(うち外国人 6,288人)

イ 外国人との交流及び相互理解を図るため、各種イベントを開催した。

#### 主な事業

名 称		実施日	参加者数
さがみはら国際交流フェスティバル2015		10月11日	約3,500人
ハローインターナショナルサロン「世界の料理教室」		5月31日	28人
		12月5日	24人
ハローインターナショナルサロン「日本のあじ」スクール		7月25日	28人
外国語講座	英語講座(全4回)	10月24日～ 11月21日	延べ21人
	フランス語講座(全4回)	10月24日～ 11月28日	延べ58人
登録団体交流会		5月30日	15人
		2月27日	21人
新ボランティア交流会		4月19日	8人
		1月17日	7人
お茶会(11回)		毎月第三日曜日	486人
防災バスツアー		6月7日	49人
防災研修会		1月24日	18人

### (2) 日本語ボランティア養成講座の開催

外国人市民に日本語を教える指導者(日本語ボランティア)を養成するための講座を開催した。

ア 日 時 9月3日～11月12日(計10回)

イ 受講者数 延べ212人

## 2 国際交流基金

市民による幅広い国際交流活動を支援するため、市の積立金のほか市民、企業、団体等の寄付金などを原資として積み立てを行い、運用益を活用して国際交流・協力などの国際化事業を推進した。

ア 平成27年度末基金高 222,204,670円

イ 平成27年度運用益 1,301,336円

ウ 平成27年度取崩額 19,269,761円

## 3 外国都市との交流

友好都市である中国・江蘇省無錫市(昭和60年10月6日友好都市締結)、カナダ・オンタリオ州トロント市(旧スカボロー市 平成3年5月31日に友好都市提携)、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州トレイル市(平成18年3月29日友好都市継続の確認書署名)と教育、経済など幅広い分野において交流を行った。

### (1) 友好都市・無錫市との交流

ア 友好都市締結30周年事業

無錫市との友好都市締結30周年を記念し、文化・スポーツ・経済・教育等の幅広い分野における市民交流をさらに促進し、友好関係のより一層の発展に資することを目的に、両市において記念式典・レセプション・紹介展等の記念事業を実施するほか、両市の市民が相互に訪問し、友好を深めた。

イ 相模原市から無錫市への訪問団(5 団 : 58 人)

名 称	期 間	人数
相模原市・相模原市議会友好訪中団	10月7日～11日	8
市民友好訪中団 (相模原市日中交流協会第40次訪中団)	10月7日～11日	13
相模原市文化交流訪中団	10月6日～10日	24
相鑑舎訪中団	10月8日～12日	5
相模原市議会友好訪中団	10月19日～24日	8

ウ 無錫市から相模原市への訪問団(11 団 : 137 人)

名 称	期 間	人数
無錫市写真愛好家交流団	4月1日～2日	22
無錫市友好取材団	5月3日～4日	6
無錫市青少年芸術交流団	7月21日～22日	30
無錫市友好親善青少年スポーツ交流団	7月31日～8月4日	16
無錫市青少年環境大使団	8月17日～18日	14
無錫市友好交流団	11月19日～22日	6
無錫市歌舞団訪問団	11月20日～24日	12
無錫市卓球協会訪日団	11月23日	16
行政研修生	1月18日～30日	3
	1月22日	3
無錫市友好交流団	2月29日～3月1日	9

(2) 友好都市・トロント市との交流

ア 相模原市からトロント市への訪問団(2 団 : 27 人)

名 称	期 間	人数
相模原市・相模原市議会友好訪加団	7月5日～11日	7
相模原商工会議所経済交流友好訪加団	7月5日～9日	20

イ トロント市から相模原市への訪問団(1 団 : 2 人)

名 称	期 間	人数
トロント市友好訪日団	2月8日	2

(3) 友好都市の紹介

友好都市をより多くの方に知っていただくため、「相模原市民若葉まつり」「潤水都市さがみはらフェスタ」で紹介パネルの展示及び物産の販売を行った。

4 銀河連邦

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設が縁で4市2町(秋田県能代市・岩手県大船渡市・神奈川県相模原市・長野県佐久市・鹿児島県肝付町・北海道大樹町)が、ユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、共和国間相互で経済、教育、スポーツ、福祉等、多様な交流を通じ、友好の絆を深めた。

サガミハラ共和国の主な事業

(\*)についてはまつり全体の参加者

事 業 名	実 施 日	場 所	参加者数(人)
第42回相模原市民若葉まつり 銀河連邦物産展	5月9日～10日	サガミハラ共和国 市体育館駐車場	約390,000 (*)
「はやぶさの日」記念 「相模原はやぶさウィーク」イベント	6月6日～14日	サガミハラ共和国 東京国立近代美術館フィルムセ ンター他	約50,000
銀河カップ少年サッカー大会派遣	7月18日～20日	サク共和国	16
「JAXA 相模原キャンパス特別公開」 銀河連邦物産展	7月24日～25日	サガミハラ共和国 JAXA 相模原キャンパス	約13,000

事業名	実施日	場所	参加者数(人)
子ども留学交流事業	7月31日～ 8月2日	ノシロ共和国	16
大船渡ポートサイドマラソン大会派遣	7月25日～26日	サンリクオオフナト共和国	3
銀河連邦フォーラム	10月16日～17日	ノシロ共和国	3
潤水都市さがみはらフェスタ 2015 銀河連邦物産展	10月31日～ 11月1日	サガミハラ共和国 相模総合補給廠返還地	約200,000 (* )
障害者交流事業(りんご狩り)	11月14日	サク共和国	79
うちのうら銀河マラソン大会派遣	11月21日～23日	ウチノウラキモツキ共和国	3
小惑星探査機「はやぶさ」帰還5周年 記念講演会	12月6日、 12月13日	サガミハラ共和国 桜美林大学プラネット淵野辺キ ャンパス	690
銀河連邦 星の町スピードスケート親 善大会派遣	1月23日	サク共和国	30

## 東京事務所

### 1 所在地と設置日

東京都千代田区平河町2丁目4番1号 日本都市センター会館12階 (昭和63年4月1日設置)

### 2 中央省庁その他諸機関との連絡調整

本市行政の政策形成や施策の円滑な推進を図るため、中央各省庁その他機関への陳情・要望活動の支援等を行った。

要望活動件数

(単位:件)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
要望活動	32	45	48

### 3 市政に関連のある情報、資料の収集及び調査

本市行政に必要な情報の収集、諸会議への出席、担当部署への情報提供等を行った。

平成27年度 担当課への情報提供件数 (内容が複数の省庁に係る場合はそれぞれに計上)

関係省庁	件数	関係省庁	件数
総務省関係	297	内閣府関係	245
厚生労働省関係	419	文部科学省関係	109
経済産業省関係	162	環境省関係	42
国土交通省関係	111	その他	174
農林水産省関係	91	合計	1,650

・平成27年度 収集した情報の件数 1,525件

・平成27年度 資料収集等のための会議出席件数 91件

### 4 本市施策の紹介、宣伝等広報事業の推進

本市における施策及び施設の紹介、イベントのPR等を行った。

・平成27年度 広報紙等配布件数 延べ4,032件(国会議員、各東京事務所、省庁関係者)